

令和8年度中高生リバーサメンター事業 政策提言内容について

No.	氏名	ふりがな	学年	提言テーマ	内容
1	小柳 優希	こやなぎ ゆうき	中学1年生 (7年生)	中高生の安心を支える、スマートフォンの環境づくり	・全ての中高生が、GPSや緊急連絡、防災情報等が受信できるよう、スマートフォンの貸出制度をつくる。 ・SNSトラブル、個人情報、ネット上でのマナーなどに関するモラル教育を行い、安全なスマートフォンの使い方を学ぶ機会を設ける。 ・勉強や睡眠に影響が出ないよう、利用時間などのルールをつくる。
2	斉藤 ゆら	さいとう ゆら	高校2年生	品川における戦争の歴史を通じて、若者の平和への関心を広げる	・品川歴史館での、区内の戦争による影響に関する展示を拡充する。 ・品川図書館の平和資料コーナーに、品川区における戦争の歴史を展示する。 ・区立小学校での平和のワークショップを拡大・継続する。
3	齊藤 凜桜	さいとう りお	高校2年生	職業への理解を深めるイベント開催 ～中高生からのキャリア教育～	・様々な職種を知り、将来のキャリアや文理選択の参考とするため、中高生を対象とした区内企業が参加するイベントを開催する。
4	中島 知葉	なかじま ともは	高校3年生	外国人住民と地域住民が共にまちづくりを行う「品川 みらい共生会議」の設置	・外国人住民のニーズや地域課題を把握するため、既存イベントを活用した対話の場を設ける。 ・外国人が課題やアイデアを、直接区政に提案できる公的枠組みを設置する。 ・町会やPTA、ボランティア等が伴走者となり、課題解決に向けた政策を実践する。
5	三宅 柊平	みやけ しゅうへい	高校2年生	小学生から始める「一歩を踏み出す勇氣」を育てる 継続的な救命教育の推進	・行政・医療・教育・消防の連携による救命教育体制を構築する。 ・小学生を対象に、保護者や地域住民、病院関係者等が参加する実践的なロールプレイやディスカッションを行う。 ・小学生のタブレットに区独自の救命教育アプリを導入するとともに、市民科の授業を活用し、救命教育を推進する。
6	森本 桃子	もりもと ももこ	高校2年生	若者の発信力で、地域文化を未来へ	・区民まつりごとの歴史・見どころ・写真等、地域ならではの魅力を紹介したホームページを作成するとともに、「広報しながわ」にQRコードを掲載し、若者向けに区民まつりの情報発信を行う。 ・区内の小学校・中学校・高校へボランティア募集を行い、希望する学生を区民まつりのボランティアにつなげる仕組みをつくる。 ・次年度の情報発信や運営の改善に活用するため、区民まつりの来場者へのアンケートを実施する。
7	安富 莉奈	やすとみ りな	高校2年生	高校生と企業と商店街を繋ぐ実践型プラットフォーム の創設	・高校生が家庭環境などに左右されず、企業や社会と直接関わる機会や環境を作る。 ・高校生と区内企業をつなぐプラットフォームを設置し、高校生が主体となって商品開発やマーケティング、アプリ開発等に取り組み、成果発表等を行う。
8	山景 茉莉	やまかげ まつり	高校3年生	Instagramを活用した、学生と品川区の地域資源 をつなぐ仕組みづくり	・品川区内の若者から、区内のグルメや風景、地域の魅力が伝わる写真を募集し、写真をまとめたリール動画を区公式Instagramで発信する。
9	横出 慧	よこで けい	高校1年生	スマートガイドがデザインする外国人の観光体験	・外国人観光客への言語面のサポートや情報発信力の強化を推進するため、外国人向けの店舗紹介「スマートガイド」や、外国人対応をまとめた「おもてなしマニュアル」などを作成する。